

## 気候情報

### 2008年8月の日本の天候

- 各地で局地的な大雨
- 沖縄・奄美で顕著な少雨
- 北日本から西日本では気温の変動が大きい

#### 8月の天気概況

月の前半は全国的に高気圧に覆われて、晴れて暑い日が多かったが、下層には湿った気流が、上空には寒気が入り、大気の状態が不安定となって、局地的に雷を伴う大雨がたびたび発生した。月の後半は、北日本から西日本では前線や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多く、中旬は日本海側、下旬は太平洋側中心に、ところどころで大雨となった。大雨により、各地で浸水害や土砂災害、停電や交通障害等が発生した。東北地方の月降水量は、中旬以降の多雨により、1946年以降、8月としては1998年に次いで、2番目に多かった。また、月の後半には日本付近に寒気が南下し、北日本中心に顕著な低温となった。沖縄・奄美では、一時湿った気流により、曇りや雨の日があったものの、太平洋高気圧に覆われる日が多く、台風の接近も無かったことから、晴れて暑い日が続き、顕著な少雨となった。沖縄・奄美の月降水量は、1946年以降、8月としては1993年に次いで2番目に少なかった。

**上旬：**北日本から西日本では高気圧に覆われ、晴れて暑い日が多かった。旬前半に本州付近をゆっくり南下した前線や上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、各地で局地的な雷を伴った大雨となり、停電や浸水害や土砂災害などが発生した。沖縄・奄美では前半は晴れたが、後半は低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。

**中旬：**北日本から西日本では旬初めは高気圧に覆われて概ね晴れたが、その後は前線や低気圧の影響で東北地方や日本海側中心に曇りや雨の日が多く、大雨となったところがあった。北日本では旬後半に強い寒気が入り、低温となった。沖縄・奄美では旬初めに湿った気流の影響で雨のところがあったが、その後は太平洋高気圧に覆われ、概ね晴れた。

**下旬：**北日本から西日本では低気圧や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多く、東北地方や太平洋側中心に大雨となったところがあった。特に28日から30日にかけては、東海地方や関東地方を中心に、短時間の記

録的な大雨が観測されるなどして、広範囲で浸水等の被害が発生した。オホーツク海高気圧や寒気の影響で旬前半は北日本中心に顕著な低温となった。沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われ、晴れて暑い日が多かった。

#### 8月の気候統計

**月平均気温：**沖縄・奄美で高かったほかは、全国的に平年並だった。

**月降水量：**東北太平洋側でかなり多く、東北日本海側、東日本、西日本日本海側で多かった。これらの地方では、平年の170%以上となったところがあった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なく、北海道日本海側では少なかった。その他の地方は平年並だった。

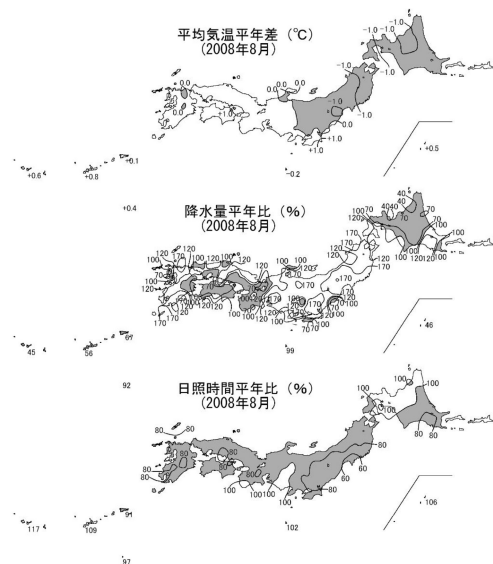
**月間日照時間：**沖縄・奄美で多かった。一方、北日本、東日本太平洋側、西日本では少なく、東日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

#### 8月の記録(1位更新のみ)

- ・月降水量少ない方から(mm)  
与那国島 13.0 西表島 37.5
- ・月間日照時間多い方から(時間)  
西表島 277.2

#### 2008年8月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。